

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	J Cカップジュニアカーリング大会事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人軽井沢青年会議所 (0267-46-1445)
事業区分	(3)教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,426,740 円 (うち支援金 : 978,000 円)

事業内容

軽井沢町・御代田町にカーリング場があるにもかかわらず、まだまだカーリング人口、認知度が高いとは言えません。大会、レッスンを通して地域の青少年のカーリング技術の向上とカーリング人口の増加を目的としてカーリング大会を実施。

- J Cカップジュニアカーリング大会
8月5日～6日 軽井沢アイスパーク
16チーム参加
- カーリングレッスン
8月6日
23名参加



事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① カーリングレッスンへの参加者は5歳～70歳と幅広くさまざまな年齢層の方が参加し実際に競技を体験しカーリングへの興味が強くなった。
- ② 県外の選手を招待することで、通常では対戦することができないチームと対戦し、普段とは違った緊張感や相手を尊重した試合をすることができた。また、海外チームも参加し他国の技術を体験することができた。
- ③ 軽井沢新聞に大会、レッスンの告知をしたことで多くの参加者が多く集まった。また、大会を観覧に来た方も多く、カーリングの技術を間近に感じることもできた。

【目標・ねらい】

- ① カーリング人口の増加
- ② 青少年のカーリング技術向上
- ③ カーリングの認知度の向上
- ④ 青少年の健全な精神性の育成

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・大会招待チームが1チーム招待することができなかった
- ・カーリングレッスンに、幅広い年齢層の参加者が集まり成果が見られた

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

引き続き青少年のカーリング選手育成、及びカーリング人口を増やすことを行い、世界で活躍するカーリング選手が多く育つことを願い活動を続けていきたい。そして、まだまだ地域のカーリングに携わる人々を増やし、この地域がカーリングとして有名な地域になる様国内、世界へと繋げていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある